

## 第2版のまえがき

皆さんは本書のテーマ「情報リテラシ」を何とお考えでしょうか？  
スマホやパソコンの知識や使い方だと思いませんか？  
そうだとすると、スマホやパソコンは問題を解決してくれますか？ 答えは否だと思えます。  
情報リテラシは、個人やグループの情報活動についてのリテラシ（活用能力）であって、それには、

「問題の発見、情報の収集・分析、論理的な思考、解決策の創出、説得力のある発表、わかりやすいレポートの作成」

などが含まれます。経済産業省が2006年から提唱している「社会人基礎力」の情報活動に相当するもので、実社会ではこのような能力が求められます。スマホやパソコンは、これらの活動を便利に能率よく行うための道具として重要ですが、問題を発見し解決するのは、人つまりわれわれ自身です。

本書の第一の特徴は、実社会における問題の発見と解決のための科学的な考え方と方法を組織だてて学べることにあります。とくに、知識を覚えることより「考えること」に重点をおいています。第二の特徴は、本書を通じて「ゴミ問題の解決」をテーマに、情報リテラシを実践的に学習していくことです。しかも、チームを組んでグループワークとして皆で考えて解決していきます。衆知を集めることがより良い結論を導くために大切と言われています。そのため議論することに重点を置いています。日頃から身近に感じられるテーマについて、問題を見つけ、分析し考察して、解決するように仕組んであるので、楽しく読み進めることができます。また、図や表をふんだんに採り入れ、簡潔な文章で説明しています。それとともに、役立つ情報やおもしろい雑学を「コラム」に掲載して息抜きができるように工夫しました。

すべての活動は、報告や議論をして締めくくることが鉄則です。そのため本書では、プレゼンテーションとディベートにも力を入れています。プレゼンテーションでは、グループワークの成果を発表するスライドの完成版を掲載してあります。一方、ディベートは、情報リテラシを総合して駆使し優劣を競う「華の討論会」です。第2版では、新たに第9章を設けて、本書で学んだ学生が、自分たちで準備実行したディベートの一部始終を収録掲載しました。これには立論のためのスライド、立論、反対尋問及び最終弁論が含まれています。ディベートの完成版を掲載している教科書は今のところ見当たらないので、多方面でご利用いただけるのではと考えます。

本書を読む際は、最初にプレゼンテーションとディベートの章を一読してから、第1章に戻り、順に読み進めるのもよいでしょう。

またこの版で、ブレインストーミングやKJ法などの説明に写真や図を追加して、初年次学生に

より親しみやすくしました。

本書は2000年に発刊し第3版を重ねた「ITテキスト 基礎情報リテラシ」の思想と実績を引き継いで企画・出版しました。そのため、通算では第5版19年となります。この版から、「社会人基礎力」を引用して、本書を学ぶことによって、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための基礎的な能力が身につくことを反芻し、学ぶ意欲を持続させるよう呼びかけています。

著者らは、組織や社会に対する情報活動を「情報システム」と捉え、それに基づく教科書「コンピュータ概論：情報システム入門」を刊行しています。こちらは1998年に初版を発刊し、現在7版を数えています。また、本書への橋渡しを目的とした「コンピュータリテラシ—情報処理入門」（現在第4版）を刊行し、情報基礎教科書3部作を構成しています。ともにご愛顧を賜れば幸いです。

本書を教科書として採用してくださる先生方には、著者や執筆協力者が授業を進めるときに使っている教材（授業用スライド、配布資料、テスト問題やその解答など）を無料で頒布する仕組みを備えています。共立出版宛お問い合わせの上ご利用いただき、本書と併せてご批判・ご助言賜れば幸いです。最後になりましたが、本書の企画と制作にご苦勞をおかけしました共立出版の石井徹也さんに衷心よりお礼申し上げます。資料などを引用させていただき、またご提供下さった方々にも、記して謝意を表します。

2019年夏

著者を代表して  
魚田 勝臣

#### 執筆分担

第1章 情報リテラシとは	魚田勝臣
第2章 グループワークのための準備	植竹朋文
第3章 情報の収集と整理	永田奈央美
第4章 問題の発見と情報の分析	森本祥一
第5章 解決案の創出	関根純（協力：魚田勝臣、永田奈央美）
第6章 レポートの作成	渥美幸雄
第7章 プレゼンテーション	大曾根匡
第8章 デイバート	大曾根匡
第9章 デイバートの実践	関根純（協力：魚田勝臣）
第10章 豊かな情報社会に向けて	魚田勝臣

執筆協力者（教材提供を含む） 敬称略

八木晃二、伊東洋一、上野 仁、大原康博、奥野祥二、新保好美、廣澤敏夫、山縣 修